

阿賀野市民の安全・安心の確保、生活向上に必要なインフラ整備に関する最近の実績、阿賀野高校の新任校長の江川真先生からのメッセージについて、今回と次回に分けてご紹介します。

## 阿賀野市の未来のため、これからも頑張ります!!

新潟県議会議員

帆苅 謙治

### 最近の インフラ整備状況

私はこれまで、阿賀野市民の安全・安心の確保と生活の向上を第一に考えて政治活動を行ってきました。次に示す最近の4つのインフラ整備状況について、今回と次回の2回に分けて紹介します。

①羽越本線洪水防止連携整備

②阿賀野川・藤戸川合流点

処理事業

③磐越自動車道4車線化の整備状況

④阿賀野バイパスの進捗状況

今回は、①と②について紹介します。

### ①羽越本線洪水防止連携整備事業

現在、JR羽越本線と阿賀野川右岸堤防が交差する地点(下里地内)は、堤防が低いため豪雨時には洪水の被害が懸念されています。令和2年度より、JR東日本と国土交通省が連携して橋梁の一部を架け替え、堤防を拡幅しつつ橋桁下部開口部を塞ぎます。



平成23年7月  
新潟・福島豪雨時土のう設置作業



JR羽越本線 阿賀野川堤防 完成イメージ

月新潟・福島豪雨と同規模の雨が降ったとしても、洪水の発生が確実に低減します。

それと同時に、住民の皆様の避難を必要とする場面が少なくなると考えています。完成予定は令和4年度です。

最高水位を記録した平成23年7月が完成すると、観測史上これが完成すると、観測史上

### ②阿賀野川・藤戸川 合流点処理事業

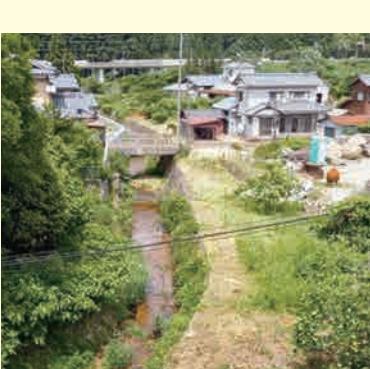
令和元年東日本台風の豪雨で

は、阿賀野川が氾濫危険水位を超過したため、藤戸川が合流する草水地区において浸水被害が発生しました。被害の原因は、阿賀野川本流の背水(バックウォーター)・本流の増水により支流の水がせき止められて本流に流れ込むことができず、支流の水位が急激に上昇して逆流する現象(の影響によるものでした。

これまで地元消防団の皆様から毎年頻繁に土のう設置等の水防活動に大変なご難儀をお掛けしてきましたが、これが大幅に軽減されます。



国道49号下を通過して  
阿賀野川に注ぐ



草水地区を流れる藤戸川

は、阿賀野川が氾濫危険水位を超過したため、藤戸川が合流する草水地区において浸水被害が発生しました。被害の原因は、阿賀野川本流の背水(バックウォーター)・本流の増水により支流の水がせき止められて本流に流れ込むことができず、支流の水位が急激に上昇して逆流する現象(の影響によるものでした。

私は、地元阿賀野高校の生徒数の減少が続いていることに大変危惧しております。この流れを食い止めるため、数年前より、有能な教育者の招聘、県と市関係者による「意見交換会」の開催、さらに阿賀野高校最大の特色である「総合選択制」導入により教育内容が格段に充実したことを踏まえ、多くの市民・関係者が阿賀野高校活性化に取り組んできました。

しかし、阿賀野高校の良くなつた点を受験生やその保護者の方々に必ずしも十分お伝え出来なかつたことが残念です。私は、今後とも継続して阿賀野高校の活性化に取り組んでまいります。

5月31日、私の編集スタッフが阿賀野高校を訪問し、本年4月に着任された江川真校長先生にインタビューを行い、メッセージを頂きました。先生の「着任に当たつての抱負」と「総合選択制の魅力と具体例」について、今回と次回の2回に分けて掲載します。是非、ぞーー読んでください。

これを防止するため、藤戸川を管理する国土交通省が連携し、藤戸川に樋門(逆流を防止する施設)を整備します。令和3年度に約5億円の予算が計上されま

### 阿賀野高校を訪ねて

した。今後、工事が本格化して早期の完成を目指します。

# これからの阿賀野高等学校

県立阿賀野高等学校長 江川 真

県立阿賀野高等学校に赴任して2ヶ月が過ぎました。4月より阿賀野市長田中清善様、阿賀野市教育長神田武司様をはじめ安田中学校、京ヶ瀬中学校、水原中学校、笛神中学校を訪問し御挨拶させていただきました。

阿賀野市の高等学校として地域の方々や生徒達のために一意専心せねばならぬと気持ちを新たにいたしました。

昨年度は新型コロナウイルスの蔓延防止対策により全国規模、全県規模で多くの各種大会が中止となりました。

同様に阿賀野高等学校でも学校行事が縮小や中止となりました。校長として断腸の思いであり、生徒の心情を考えると遺る瀬無い思いでした。

しかし、今年度は感染症対策を徹底して、生徒の活動を止めないようにしたいと考えてあります。6月10日(木)には体育祭を種目限定、無観客で実施しました。現在、秋以降の行事である翠松祭(文化祭)や球技大会をいかに安全に実施するか考えています。

客で実施しました。現在、秋以降の行事である翠松祭(文化祭)や球技大会をいかに安全に実施するか考えています。

また修学旅行についても保護者の意見を聞きながら時期と場所の大幅な変更を余儀なくされたことも含めて慎重に審議しています。

さて、今年度、阿賀野高等学校は、どのような生徒を育成していくのか校長としての考え方を3つの視点で述べさせていただきます。

①「相手の身になって考えながら他者と協働して生きる生徒」

多様化が求められるこれから社会において他者と協働する中で自ら思考し、決断し、行動を取ることができる生徒を育成します。

②「地域に学び、地域の課題を解決する意欲を持つて、主体的に学習できる生徒」

地域社会、地域文化を学び、多様な変化に柔軟に対応

して提高できる能力を育み、地元について深く知り、愛して、新しい地域の在り方を創出し、表現できる力を育成します。

## ③「積極的に部活動、生徒会活動、学校行事に取り組んで自律的に行動する生徒」

これからの中学生においては、一つの「ミーティングだけでは生活できません。多様な年齢集団の中で自分の考えをつたえ、共感しながら、自己表現できる力が大切です。したがって学校での集団活動や学校行事を糧にして成長できる人物を育成します。

をつたえ、共感しながら、自己表現できる力が大切です。したがって学校での集団活動や学校行事を糧にして成長できる人物を育成します。



江川校長先生へのインタビューの様子

# 全市民、友と友、手を取り合い、阿賀野市活性!

## けんじの勝手考

「けんじの勝手考」は、今回で2回目となりました。

前回は「市が成り立つ条件」というテーマで私見を述べました。つまり、①高校があること、②警察署があること、③警察署があること

です。阿賀野市存続のためには、これら3施設をどうしても維持していかなければなりません。阿賀野市内を訪ね歩き、地域の方々との会話をとおして握し、さらに阿賀野市当局とも連携して強みを伸ばし弱みを解消することに努めてきました。

私は、阿賀野市選出の県議会議員ですので、新潟県の政治課題全般について議論し行動するには当然ですが、やはり、阿賀野市民の安全・安心の確保と生活の向上を第一に考えて政治活動を行つてきました。

それでは、具体的にどう活動したら阿賀野市民の負託に応えられるでしょうか。限られた予算の中で、国、県から如何に多くの予算を取り込むかが重要です。「我が田に水を引く」ということになりますが、これは正当な競争なのです。

現実問題として私の仕事は、地元阿賀野市の社会福祉・教育、インフラ整備、町おこし等の充実に資する予算の獲得が第一といつても過

言ではありません。出来もない公約、美辞麗句を並べた言葉の遊びでは解決しません。

私は、真っ当な方法と手段により、各種事業の実現に尽力してきました。すなわち、

阿賀野市内を訪ね歩き、地域の方々との会話をとおして握し、さらに阿賀野市当局とも連携して強みを伸ばし弱みを解消することに努めてきました。

この種の案件は国や県のどこに持つて行つたら円滑に事が進むのかを熟知しています。額に汗して地道に行動してきた結果、多くの事業が実現しました。誇りに思う次第です。

これからも、私の政治信条「夢を現実に―」をモットーとして頑張つてまいります。

活動動画を発信しています。  
大勢の方から沢山の反響を頂いています。



◎「ほかりけんじ・県政便り」は、新聞折り込みでお届けします。

阿賀野市が元気になる、提案・意見をお寄せ下さい。

特定の思想・主義の主張や、他人への非難や批判ではなく、あくまでも建設的な内容に限ります。文字数は400字以内です。

ほかりけんじ事務所  
〒959-2221 阿賀野市保田 737-2  
TEL:68-5441 FAX:68-5515  
<http://www.hokaken.jp/>